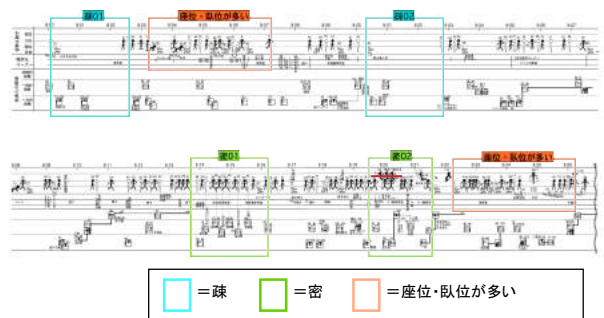


保育環境のあり方を問い直す 保育環境としての保育建築

20160327 佐藤将之@早稲田大学人間科学学術院

個人に着目した行動様態

図表 3-8. YK の遊楽劇 (画面は98分中、始めの37分間)



佐藤将之, 園児の社会性獲得と空間との相互作用に関する研究 子どもの環境行動原論, 東京大学博士論文, 2004年

どこへ向かうか 保育建築

◆各種建物種別で概ね言われてきた、施設計画視点の変容

収容環境としての施設環境

他種施設例:
効率よく並べられた片廊下配置

↓
目的達成 (学習・保育) のための施設環境

多目的スペースの配置

↓
生活環境としての施設環境

←認定こども園

?

保育環境のあり方を問い直す 保育環境としての保育建築

- ◇「創り続ける保育環境」を支える場となる保育建築
 - 環境づくりは個々の保育力を高めるきっかけとなる
 - 空間創造能力・環境設定能力を高める場に
- ◇何のための保育建築なのか、
 - 「ひとり当たり」の場から「～するための」の場に
 - 最低限 (収容) の場から活動するための場に
- ◇保育建築・環境づくりを通じて、みんながつながる
 - プログラムデザインからプロセスデザインへ

20160327 早稲田大学人間科学学術院 佐藤将之

<変更の意図やポイント>

→変更の意図・ポイント

- ・落ち着いて読んで欲しい
- ・困ってみよう

→変更の意図・ポイント

- ・みんなが居れる場所



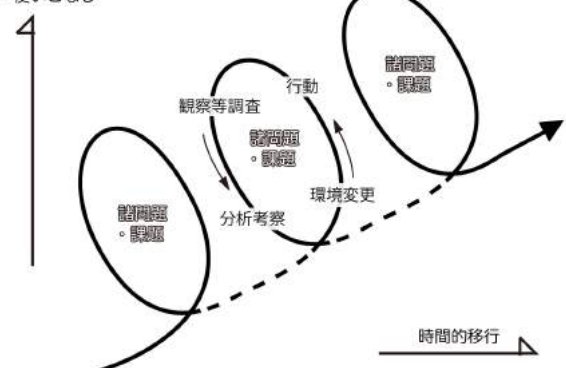
- ・あまり使われない
- ・落ち着いて読めない

- ・ジャンプがなくなった
- ・滞在時間が長くなった
- ・人気がでて大人数

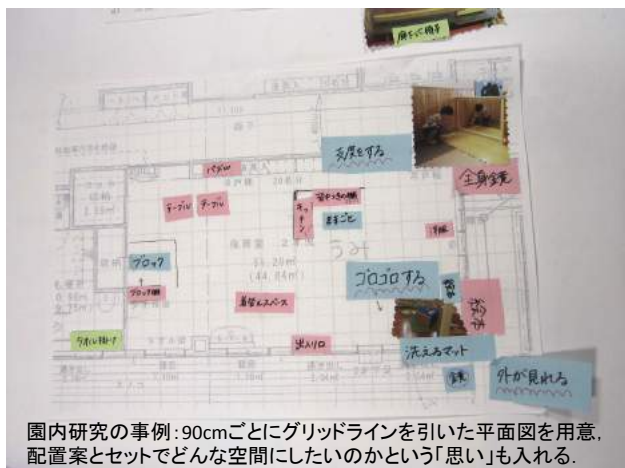
- ・大人数が入れる
- ・ままごとと混ざった (静と動が混じった)

<効果と問題点>

空間創造
・使いこなし



空間学におけるアクションリサーチの螺旋



- ◇子どもにとって
- ◇お父さんにとって 参画→愛着を作る
- ◇先生にとって

プログラムデザイン



プロセスデザイン

◇何を揃えようか、やってみようか



◇なぜ必要か、どうやって揃えるか

- 保育者=使い手にとって
 - 保育環境設定能力の向上
 - 空間創造能力の向上
 - 愛着を持てる環境